

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 28日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県米原市藤川650

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
大阪シーリング印刷(株)
代表取締役 松口 正

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	大阪シーリング印刷株式会社 代表取締役 松口 正
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県米原市藤川650

1 事業所の概要

事業所の名称	大阪シーリング印刷株式会社 滋賀工場 第2事業所					
事業所の所在地	滋賀県米原市大清水613-3					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	5	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 オフセット印刷業(紙に対するもの)
事業の概要	紙器・シール印刷加工					
従業員の数	92	人	操業時間	8 (8時~17時)	時間/日	
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ		台	熱源設備		台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	36	台
				照明設備	888	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	5	年度	報告対象年度	6	年度
	終了年度	7	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

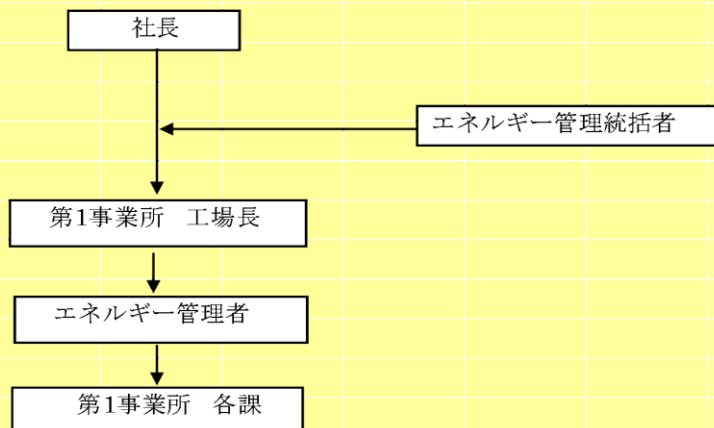
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

我々は環境との調和が企業の重要な責務である事を認識し、環境保全と資源保護に配慮した事業活動を通して、豊かな地球と社会に貢献する。

1. 環境保全に配慮した商品開発を行う。
2. 省エネルギー、省資源、環境負荷低減に役立つ施策の実施及び技術開発を行う
3. 廃棄物の減量化、資源リサイクルを推進する
4. 関連法規、地域協定、その他の要求事項の遵守を全員に周知し維持する
5. 環境目的・目標を設定し機械改善と汚染の予防を図る

2 取組の推進体制

○責任者 第1事業所 工場長



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 工場内の照明設備において全てをLED化
- 受電設備の更新による電力損の改善
- 高効率生産機の導入と工場集約による原単位改善

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	帰宅時のPC電源OFFの推進	R5～R7年度	継続実施中
2	運用改善	アイドルリングストップの推進	R5～R7年度	継続実施中
3	設備導入	印刷乾燥装置UV設備における待機電源の削減	R5～R7年度	継続実施中
4	プロセス改善	生産工場新設における工場集約	R7年度	準備中
5	設備導入	高効率生産機への変更による生産機集約	R5～R7年度	継続実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組により、令和4年度を基準として、以下の目標を目指す</p> <p>原単位 [温室効果ガス排出量 / 生産量] 3%の削減</p> <p>原単位の考え方は次の通りです 温室効果ガス排出量は生産量に大きく影響を受けるため、生産量を原単位の分母として設定する。</p> <p>※2022年度原単位0.02739を基準値とし毎年3%の3年間で9%の削減とする。非エネルギー起源CO₂量を見直しましたので基準値が変更になりました。</p>	<p>R5は破碎設備の故障が継続したために焼却炉の稼働が多くなっていましたがR6は破碎設備も稼働していますので改善となりましたが電気の排出係数により温室効果ガス排出量が多くなっています。今後も原単位改善に努めていきます。</p>	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(5)年度	(6)年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	516	457	466			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	1,427	3,801	1,182			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	633	706	765			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	794	3,095	417			
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.027	0.076	0.026			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	2030年に向け新工場に自家消費型太陽光を計画
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
			(5)年度	(6)年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	8	8	8			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0	1			
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	バイオマスボイラーへの投入により産業廃棄物排出量を年2%削減	R5~R7	R5は破碎設備故障で殆ど稼働無かったがR6は従来とおりに稼
2				
3				
4				
5				